



2023 年度検討テーマ

① ポジティブアプローチ

事故に気づいた事実や報告という行動そのものをポジティブに捉えて、問題の発生に気づいたり被害をその範囲で止めたりすることができた理由に焦点を当て、安全活動に役立つ取り組みの検討

② ワンオペ（おひとりさま）医療安全 応援プロジェクト

院内で、実質 1 名で医療安全を担っている方々の支援や、働き方の検討

③ チーム医療研修会

TeamSTEPPS を院内でどう活用することができるか。TeamSTEPPS、ノンテクニカルスキル、レジリエンスのエッセンスと、FMEA の手法を融合させ、院内で活用する実践イメージの検討

部会員一覧

（敬称略・五十音順）

◎＝部会長

大久保 典子	地方独立行政法人 下関市立市民病院
塩津 昭子	公益財団法人大原記念倉敷中 央医療機構 倉敷中央病院
新谷 修平	公益財団法人操風会 岡山旭 東病院
高塚 由紀子	社会福祉法人 聖隷福祉事業 団 聖隷藤沢ウェルフェアタ ウン
辰巳 陽一	近畿大学病院
田中 健次	国立大学法人電気通信大学
長島 久	富山大学附属病院
長谷川 剛◎	医療法人社団愛友会 上尾中 央総合病院
皆川 宗輝	横浜市立みなと赤十字病院
吉田 和子	医療法人徳洲会 武蔵野徳洲 会病院

活動報告／成果物等

セミナーの実施

- ・おひとりさま医療安全管理者応援プロジェクト
ショートミーティング
6月16日開催（オンライン）
- ・チーム医療研修会 情報交換会
7月14日開催（オンライン）
- ・ポジティブアプローチワークショップ 情報交換会
9月19日開催（オンライン）
- ・第7回おひとりさま医療安全管理者応援プロジェクト
ワークショップ
12月16日開催（グループワーク形式、オンライン）
- ・第10回チーム医療研修会
1月6日、7日開催（対面）

公開した成果物・発表内容等

- ・第18回医療の質・安全学会パネルディスカッション
「ワンオペ医療安全管理者の今とこれから」
- ・[「医療安全管理者、および医療安全体制に関するアンケート」](#)実施・公開

総括

ポジティブアプローチワークショップは今までとは違った発想でインシデント事例に向き合うことを主眼において企画・実施し、プログラムとしてかなり成熟してきた。今後名称変更を含めて広範に啓発できるように進化させていく予定である。

おひとりさま応援プロジェクトは、各グループにファシリテーターとして経験豊富な医療安全管理者が入り、悩みや課題について語りあう形で継続している。連続して協力してくれる参加者もあり、かなり満足度の高いプログラムとなっている。得られた課題については、今後も学会発表等により啓発を行っていく。

チーム医療研修は TeamSTEPPS の内容をベースにしながから、実際の医療現場に活用するためにはどういった考え方が必要か、ということを考えてもらう研修である。COVID-19の影響でできなかった集合型の研修を久々に行うことができ集合型研修の価値や効果を再認識したところである。

（部会長・長谷川 剛）